



はとの子だより

No.10 令和8年7月27日(月)発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

好奇心と探究心を大切に ～有意義な夏休みを～

雨がしっとりと大地を潤すように、子どもたちの心にも多くの学びが満ちた一学期。一年生が大切に育てているアサガオに視線を落とすと、大輪の花びらに留まったしずくがレンズとなって校舎や青々とした葉影を映し出していました。時を忘れ、その幻想的な世界に思わず見とれてしまいました。この一学期、一生懸命に駆け抜けた子どもたちの弾ける笑顔と輝く汗が映し出されているようにも感じました。



アリーナで行われた終業式。林正彦校長先生は、好奇心と探究心を大切に、有意義な夏休みを過ごすためのヒントを教えてくださいました。校長先生のお話の一部を紹介します。

- ① 身の回りの自然現象を注意深く観察してみましょう。なぜ空は青いのか、雲はどうして様々な形をしているのかなど、身の回りには不思議なことがあります。夏休みは、流星群に

ついて調べてみるのもいいですね。

- ② 私たちのまちや人のことについて調べてみましょう。例えば、まちの片隅に石碑はないでしょうか。石碑は、昔の人から今に生きる私たちへのメッセージです。石碑からまちや人のことについて調べてみるのも面白いですね。

- ③ 図書館で本を読むのもよいでしょう。スポーツや音楽の分野で頑張っている人は、練習に励んで上手になってください。

続いて、一学期を振り返り、3名の児童のお話がありました。

2年A組の石山明日日さんは、思うようにできなかったバタフライができるようになってうれしかったことや、新しいことにチャレンジする気持ちをもつことの大切さ、家族と一緒に作った絵本の完成が楽しみであることなどについて発表しました。



4年C組の藤原有彩さんは、図を使ってわり算の筆算の仕方を考えると速く正確に計算できるようになったことや、気持ちのよいクラスをつくるために、教室の隅々まで掃除を頑張ったことなどについて発表しました。



6年B組の斎藤圭介さんは、一人のためにみんなが心配して無我夢中に動いてくれた修学旅行中のエピソードを基に、仲間の温かさに気付いたことや、互いを思いやることの大切さについて発表しました。



生徒指導主事の石井知徳先生からは、安全・安心の楽しい夏休みとなるよう、火気の取扱いは大人と一緒にすること、交通事故や水の事故に遭わないよう気を付けること、インターネット等は、きまりを守って正しく使うことについてのお話がありました。

一学期、校内には子どもたちのさわやかな挨拶が響き渡り、心地よい毎日となりました。一方で、日々の「清掃活動」については、課題も見られました。二学期は、「次に使う人への思いやり」や、「時間いっぱい心を込めて丁寧に取り組む姿勢」を大切に、清掃の在り方について子どもと一緒に考えていきたいと思います。ご家庭におかれましても、この夏休みを利用して一緒に清掃をする機会を設けたり、清掃の意義について話題にしたりしていただければ幸いです。

休み明けには、たっぷり充電し気力あふれる子どもたちと笑顔で再会できることを、教職員一同楽しみにしています。



もう一度聴きたいと思う歌声を ～Nコンへ向けて～

合唱部の皆さんは、8月20日（木）にあきた芸術劇場ミルハスで開催される「第93回NHK全国学校音楽コンクール秋田県コンクール」に向けて、日々練習に励んでいます。終業式後に行われた壮行会では、課題曲「どっきん せみさん」を披露しました。透き通るような美しいハーモニーと一人一人の思いがこもった歌声は、心に深く届く感動的なものでした。

この夏休みも、更なる高みを目指して練習に汗を流します。当日は、もう一度聴きたいと思う歌声を、ホールいっぱいに響かせてきてください。全校児童・教職員一同、皆さんの健闘を祈っています。



ボランティアの皆様へ感謝

本校では、保護者の皆様の温かいご協力のもとで、ボランティア活動が行われています。

図書ボランティア

定期的に読み語りを行っています。物語の世界に没頭している子どもたちの表情が印象的です。写真は、図書担当の伊藤貴子さんと図書ボランティアの皆様による読み語りの様子です。



グリーンボランティア

校内の観葉植物のお世話をしてくださっています。丁寧なお手入れのおかげで、校内には生き生きとした緑があふれ、子どもたちや教職員に癒やしと潤いを与えてくれています。



「本」を通して豊かな心を育み、「緑」を通して穏やかな環境を整えてくださるボランティアの皆様。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。